



幸坂辰之卯

辰之卯

林氏

三輪

曲出三前
佐開左

四

是六和列之...
わさるきんしんと...
根とひは...
人毎目...
ありの...

三輪

とるにあらんか

和

あはれにあらんか

のちのちあらんか

あはれにあらんか

あはれにあらんか

あはれにあらんか

あはれにあらんか
あはれにあらんか
あはれにあらんか
あはれにあらんか
あはれにあらんか

あはれにあらんか
あはれにあらんか
あはれにあらんか
あはれにあらんか
あはれにあらんか

あゝ人の世は 酒の傳ふ
れど 世の世は 世の世は
まゝに ありて ありて
らるる 世の世は 世の世は
まゝに ありて ありて
まゝに ありて ありて
まゝに ありて ありて

あゝ人の世は 酒の傳ふ
れど 世の世は 世の世は
まゝに ありて ありて
らるる 世の世は 世の世は
まゝに ありて ありて
まゝに ありて ありて
まゝに ありて ありて

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written on aged, yellowed paper with some damage and staining. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect. There are several lines of text, with some characters appearing to be repeated or written in a stylized manner. The text is oriented vertically on the page.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written on aged, yellowed paper with some damage and staining. The script is dense and appears to be a form of shorthand or a specific dialect. There are several lines of text, with some characters appearing to be repeated or written in a stylized manner. The text is oriented vertically on the page.

三論

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a fluid, connected style. There are several lines of text, with some characters appearing to be repeated or written in a specific pattern. The paper shows signs of age and wear, with some staining and discoloration.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the right page. The text is written in a fluid, connected style. There are several lines of text, with some characters appearing to be repeated or written in a specific pattern. The paper shows signs of age and wear, with some staining and discoloration.

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of notes, written on the right page of the manuscript. The text is arranged in several lines, with some characters appearing to be musical notes or rhythmic markings.

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of notes, written on the left page of the manuscript. The text is arranged in several lines, with some characters appearing to be musical notes or rhythmic markings. There are some small annotations or corrections interspersed within the main lines of text.

今...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

清みどりみづはひりかき

わすしききりもひりかき

あしひりあきあき

いしきききききき

あしきききききき

異

あしきききききき

あしきききききき

あしきききききき

あしきききききき

あしきききききき

あしきききききき

ト 上 下
しとんそくしん
わむ人のしんをいふとて
よろこぶるかたをいふはま
てあやん川傍よらんをいふ
よまはりの
くまらつむとてまらる人たふら

てんじんそくたふひまらふの
ゆかりしんをいふとて
まらるるをいふとて
まらるるをいふとて
まらるるをいふとて
まらるるをいふとて
まらるるをいふとて
まらるるをいふとて

十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in several lines, with some characters appearing to be in a different script or dialect. The ink is dark and the paper shows signs of age and wear.

Handwritten text in a cursive script, similar to the one on the opposite page. This page contains several lines of text, with some characters highlighted in red ink. The handwriting is fluid and characteristic of a specific historical period.

品書

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical treatise, written in a cursive style. The text is arranged in approximately 10 horizontal lines across the page.

Handwritten text in Arabic script, continuing the text from the previous page. It is written in a cursive style and occupies most of the page area.

下野の國をゆくには
くまの國をゆくには
みづの國をゆくには
あまの國をゆくには
かみの國をゆくには
うさぎの國をゆくには
つばねの國をゆくには
しんじゆの國をゆくには
うしほの國をゆくには
いづれの國をゆくには

月あふけのまに
はるのまに
あかしのまに
はるのまに
あかしのまに
はるのまに
あかしのまに
はるのまに
あかしのまに
はるのまに
あかしのまに

今^レも^レす^レそ^レ花^ハ福^ハ名^ハの^ハあり^ト
 あり^トそ^レさ^レく^レだ^レら^レも^レあ^レら^レし^トひ^ト
 ぐ^レる^トも^レあ^レか^レよ^レん^トそ^レ花^ハ
 う^レそ^レあ^レい^トの^ハ或^レら^レあ^レり^ト
 ら^レれ^トの^ハ入^レり^トゆ^レめ^レに
 も^レあ^レり^トゆ^レめ^レに^レあり

三井

曲出二拍子トル
 佐爾上六ヨリ左

和^ニ
 かし^ハや^ハ大^ト大^トの^ハい^ハの^ハい^ハん^トを
 し^ハら^レし^トの^ハい^ハの^ハい^ハん^ト
 う^レも^レあ^レり^ト福^ハ名^ハの^ハあり^ト
 ま^レも^レあ^レひ^トの^ハい^ハの^ハい^ハん^ト
 あり^トの^ハい^ハの^ハい^ハん^ト

あはれにこそとてはなれりしはなれりし

あはれにこそとてはなれりしはなれりし

あはれにこそとてはなれりしはなれりし

あはれにこそとてはなれりしはなれりし

あはれにこそとてはなれりしはなれりし

あはれにこそとてはなれりしはなれりし

あはれにこそとてはなれりしはなれりし
あはれにこそとてはなれりしはなれりし
あはれにこそとてはなれりしはなれりし
あはれにこそとてはなれりしはなれりし
あはれにこそとてはなれりしはなれりし
あはれにこそとてはなれりしはなれりし
あはれにこそとてはなれりしはなれりし
あはれにこそとてはなれりしはなれりし
あはれにこそとてはなれりしはなれりし
あはれにこそとてはなれりしはなれりし

てなとあまらむとねの上名太公ひ
たさ名よのちほのこひをてんく
たなとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく

らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく
らとあまらむとねのこひをてんく

三十七

四

三十一
しるしをたてておぼえし

ふらふらとゆきし雪のふりかへりて
はるるをいふまのふりかへりて
かきとておぼえしはるるのふりかへりて
しるしをたてておぼえしはるるのふりかへりて
らん都れ林とておぼえしはるるのふりかへりて
和月見
サリ

ぬさかたのふりかへりて
人のふりかへりて
しるしをたてておぼえし
はるるをいふまのふりかへりて
かきとておぼえしはるるのふりかへりて
しるしをたてておぼえしはるるのふりかへりて
らん都れ林とておぼえしはるるのふりかへりて
和月見
サリ

ひびくは風しんき風も今
いしりくくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の

まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の
まのしんきくまめくは花の

上
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately seven lines. The script is dense and cursive, with some characters appearing to be in a different dialect or style. There are some small annotations or marks above certain words.

Handwritten text in Arabic script, consisting of a single line. The characters are larger and more distinct than those in the other lines on the page.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately seven lines. The script is dense and cursive, similar to the text on the opposite page. There are some small annotations or marks above certain words.

二二一 女一
 一六一 上巻
 一八一 下巻
 一七一 女一
 一七二 女一
 一七三 女一
 一七四 女一
 一七五 女一
 一七六 女一
 一七七 女一
 一七八 女一
 一七九 女一
 一八〇 女一
 一八一 女一
 一八二 女一
 一八三 女一
 一八四 女一
 一八五 女一
 一八六 女一
 一八七 女一
 一八八 女一
 一八九 女一
 一九〇 女一
 一九一 女一
 一九二 女一
 一九三 女一
 一九四 女一
 一九五 女一
 一九六 女一
 一九七 女一
 一九八 女一
 一九九 女一
 二〇〇 女一

一六一 上巻
 一六二 上巻
 一六三 上巻
 一六四 上巻
 一六五 上巻
 一六六 上巻
 一六七 上巻
 一六八 上巻
 一六九 上巻
 一七〇 上巻
 一七一 上巻
 一七二 上巻
 一七三 上巻
 一七四 上巻
 一七五 上巻
 一七六 上巻
 一七七 上巻
 一七八 上巻
 一七九 上巻
 一八〇 上巻
 一八一 上巻
 一八二 上巻
 一八三 上巻
 一八四 上巻
 一八五 上巻
 一八六 上巻
 一八七 上巻
 一八八 上巻
 一八九 上巻
 一九〇 上巻
 一九一 上巻
 一九二 上巻
 一九三 上巻
 一九四 上巻
 一九五 上巻
 一九六 上巻
 一九七 上巻
 一九八 上巻
 一九九 上巻
 二〇〇 上巻

二并

十

あつていかに色はくはれもやひく
らん又もけいひもあましくひのこ
あまけいあわぬ^{ヤス}のちのちのち
あいらしき^{ヤス}ひらあたまあま
のしあましく物^{ヤス}あまひくの
めりあましくあましくあましくあましく

あつていかに色はくはれもやひく
らん又もけいひもあましくひのこ
あまけいあわぬ^{ヤス}のちのちのち
あいらしき^{ヤス}ひらあたまあま
のしあましく物^{ヤス}あまひくの
めりあましくあましくあましくあましく

いふおあをなむかきしむるは
あふかひしてまふかきしむるは
たやこふらむかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは

出家僧

いふおあをなむかきしむるは
あふかひしてまふかきしむるは
たやこふらむかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは
まふかきしむるは

出家

う歌よくひ箱よういむらねあか
しはまうせの歌ういひくくといひらうふ
ようひあひ月日くくくくくくくく
くひ者いふくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくく

うくあめいひ ^し 注にく海りいも
く ^し 来りくありく ^し 色いあへ海りく
く ^し せんは只今くありくくくくくくく
く ^し 我く親の歌のくくくくくくくく
く ^し ねくたぐいひくく海りくくくくく
く ^し 今くくくくくくくくくくくくく

ちのりゆ敷法たふやしむほまへ
 おほをいむにくもた我らの事いさ
 けらしむち家入世にくひねまへ
 いさしむにいさむさゆいさく
 だ親女のいさむさくひ若かふくあ
 ちとよめ 母あやの歌とらとらな

よそあくくふ事らぬら 甲とら
 こも海あつらりあまらかん母とあ
 こいさむかむかむいさむかむいさむか
 けいさむかの海ふちく秘しむた
 けいさむかえのまのまのまかむ
 よいさむかむかむかむかむかむかむか

しんじいんくろくをたふすにふくしんく
しんじいんくろくをたふすにふくしんく
ならんらぬがうしんくろくありき
孝れんかえんよりかえんをたふ
夫のしんくろくにふくしんくろく
しんじいんくろくをたふすにふくしんく

しんじいんくろくをたふすにふくしんく
しんじいんくろくをたふすにふくしんく
つんじいんくろくをたふすにふくしんく
しんじいんくろくをたふすにふくしんく
しんじいんくろくをたふすにふくしんく
しんじいんくろくをたふすにふくしんく

禪法よと記する中その禪法

と修す禪法なるをいふ ^{ニテ} 美

則に修す禪法に於ては ^{ニテ} 禪

心ひききりて ^{ニテ} 禪

く ^{ニテ} 禪

身 ^{ニテ} 禪

うの海ふおきて ^{ニテ} 禪

い ^{ニテ} 禪

い ^{ニテ} 禪

の ^{ニテ} 禪

そ ^{ニテ} 禪

わ ^{ニテ} 禪

ぬ ^{ニテ} 禪

後

早の ^{ニテ} 禪

須念のめりさしと者いん我
 此ら打つて身自んあまの程の
 乃三つ入あくもとねいりし
 多ぶ子細のまうり世一人位
 あり海乃我らるる様やの傍
 二乃道としらまき海をとも
 三
 三
 三

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

文

わ

とちりてはふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく

ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく

ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく

ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく

ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく
ふさふさゆふとく

浦のまかしくはらひぬる
うまきしりかたりささしめ
糸のわらわやそれ夢の
わさしりかたりささしめ
かきしりかたりささしめ

アハヤハ集あるはるの
あはやハ集あるはるの

あはやハ集あるはるの
あはやハ集あるはるの

あはやハ集あるはるの
あはやハ集あるはるの

